

任期最後の定例議会終了 上野・橋本議員、市民の願い込め討論

令和2年度一般会計予算等5議案に反対

一般会計予算、国民健康保険・介護保険・後期高齢者保健各特別会計予算、上越文化会館外壁改修工事

一般会計予算

行財政改革に基づく事務事業の見直しによって、地域住民の安全安心にかかわる総合事務所の宿直の廃止などを含めた機能縮小や昨年10月からの消費税10%への増税の無批判な容認と定期的な受益者負担の適正化見直しの名の下での公共施設使用料・利用料の大幅な引き上げが反映されているなど、市民の負担は確実に増えています。事務事業見直しは、広島平和式典への中学生派遣事業の後退、小規模事業者の仕事づくりと市内経済活性化に大きな役割を果たしてきた住宅リフォーム促進事業や商店リニューアル助成事業の減額などにも及んでいます。また、相変わらず子供の成長や食育などにかかわる学校教育の一貫である学校給食の調理業務の民間委託がさらに拡大されていることも問題です。

今、昨年の消費税増税、少雪による事業者の収益の大幅な減少、加えてコロナウィルスの影響によって、市民活力が減退し、未曾有の経済の悪化が進んでいま



す。こうした時こそ、いま求められるのは、お金の使い方を改めて市民の負担を軽減し、中小規模事業者に寄り添った経済の活性化と家計消費拡大に資する施策にこそ重点をシフトすべきであります。

確かに子供の医療費助成の拡大や幼児保育・教育への予算配分など子育て支援策などには大いに評価できる点もいくつかみられますが、基本的には今ほど述べた安全安心な住民の暮らしの市政からは極めて不十分であると言わざるを得ません。よって、令和2年度一般会計予算には反対です。

国民健康保険特別会計
被保険者の多くが低所得者で

あるにもかかわらず、保険料が高いという構造的な問題を抱えています。全国知事会や、全国市長会など地方団体が国に国費の1兆円の導入要望していることはご案内の通りです。医療給付を保ちつつ負担を下げるには、国保への1兆円投入を実現し、また国の負担割合を元に戻すこと、さらに、全国各地で取り組みが始まっている、こどもの均等割りの免除や減額といった、抜本的な制度改革が必要です。市においても一般会計からの法定外繰り入れを思い切って行うなどの手だてが必要ですが、その姿勢が見られないことも問題です。よって賛成することができません。

介護保険特別会計予算

当市の介護保険制度は、依然として全国でもトップクラスの高い保険料が市民に課せられています。にもかかわらず、新総合事業により利用者にとってサービス内容の低下、事業者にとっては介護報酬の削減、双方にとって大変な問題が生じていることも見逃せません。さらに、地域の市民団体の善意を頼っていこうという姿勢も問題です。行政の果たすべき役割を確実に果たし、市民の負担軽くするために全力を尽くすべきであることも申し添えます。以上の理由などにより反対であります。



高すぎる国保税を引き下げよ

国民健康保険は、かつて7割が「農林水産業」と「自営業」でした、いまでは、43%が無職、34%が非正規雇用などの「被用者」であわせて8割近くになり、無職者、年金生活者、非正規雇用の労働者が多く加入しています。

国保制度がスタートした当初、政府は、「国民健康保険は、被保険者に低所得者が多いこと、保険料に事業主負担がないこと…などのため…どうしても相当額国庫が負担する必要がある」と認めていました。（社会保障制度審議会1962年勧告）ところが国は1984年の法改定で国保への定率国庫負担を削減したのを皮切りに、国庫負担を抑制し続けてきました。

国保税が、協会健保などの被用者保険と比べて著しく高くなる大きな要因になっているのは、国保にしかない「均等割」「平等割」という保険料算定です。被用者保険の保険料は、収入に保険料かけて計算するだけで、家族の人数が保険料に影響することはありません。ところが、国保税は、所得に保険料率をかける「所得割」のほかに世帯員の数に応じてかかる「均等割」、各世帯に定額でかかる「平等割」を合算して算定されます。

いま、当市を含む全国で高すぎる国保税が住民の暮らしを苦しめるだけでなく、構造的な危機となり、国民皆保険制度の根幹を揺るがしています。国民健康保険の構造的な問題を解決するには、公費投入しかありません。全国知事会、全国市長会、全国町村会なども、定率国庫負担の増額を政府に要望し続けています。請願はこうした大義と市民の願いに沿ったものであり賛成です。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.656 2020年3月29日

連絡先 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
事務局 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)